

第34週(8月22日～8月28日)の集計結果

コメント

【今週の傾向】

今週は、14定点中12定点からの報告です。

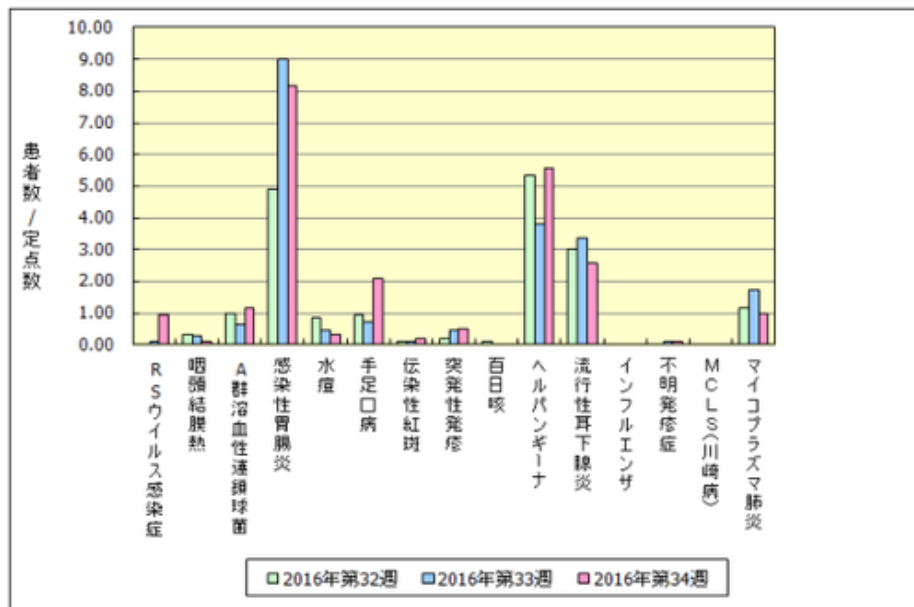
ヘルパンギーナは、都での流行警報は終息しましたが、八王子市では、定点あたり5.6人と、先週(定点あたり3.8人)より増加しました。警報レベルが続いています。症状が落ち着いても、便からウイルスが長期に排出されます。手洗いをしっかり行いましょう。

○感染性胃腸炎は、定点あたり8.2人で、先週(定点あたり9.0人)に比べ減少しました。

○流行性耳下腺炎は、定点あたり2.6人で、先週(定点あたり3.4人)と比べ減少しました。潜伏期間が2～3週間と長く、耳下腺などの唾液腺が腫脹する1～2日前から腫脹5日後までが最もウイルス排出量が多く他への感染の可能性があります。そのため、小学校等の集団の場では、1人が発病するとその後数週間から数か月に渡り、患者の発生が続くことがあります。利用者、職員への周知を徹底し、早期発見を促すことも感染症対策の1つです。

○マイコプラズマ肺炎は、定点あたり1.0人です。2016年は、2014年・2015年に比べ、報告数が多い状況です。

○感染の予防、まん延の防止のために、咳エチケット及び手洗い、排泄物・吐物の適切な取り扱い(消毒)等を引き続き確認しましょう。



第34週疾患毎発生状況グラフ

	2016年 第29週	2016年 第30週	2016年 第31週	2016年 第32週	2016年 第33週	2016年 第34週	第1週から の合計
RSウイルス感染症	3↑	2↓	2→	0↓	1↑	11↑	91
咽頭結膜熱	8↓	13↑	5↓	4↓	3↓	1↓	315
A群溶血性連鎖球菌	31↓	27↓	13↓	12↓	7↓	14↑	1259
感染性胃腸炎	101↓	108↑	96↓	59↓	99↑	98↓	4508
水痘	15↑	13↓	8↓	10↑	5↓	4↓	219
手足口病	13↑	22↑	24↑	11↓	8↓	25↑	153
伝染性紅斑	0↓	2↑	2→	1↓	1→	2↑	132
突発性発疹	8↓	5↓	7↑	2↓	5↑	6↑	242
百日咳	1→	3↑	2↓	1↓	0↓	0→	31
ヘルパンギーナ	67↓	135↑	118↓	64↓	42↓	67↑	674
流行性耳下腺炎	34↑	34→	28↓	36↑	37↑	31↓	706
インフルエンザ	1↑	0↓	0→	0→	0→	0→	6930
不明発疹症	4↑	2↓	2→	0↓	1↑	1→	64
MCLS(川崎病)	0→	0→	0→	0→	0→	0→	4
マイコプラズマ肺炎	11↓	13↑	18↑	14↓	19↑	12↓	392

第34週疾患毎発生状況表

第34週	RS ウイルス	咽 頭 結 膜 熱	連 鎖 球 菌 A 群 溶 血 性	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 疹	百 日 咳	ギ ー ナ ヘル パ ン	流 行 性 耳 下 腺 炎	イ ン フ ル エ ン ザ	不 明 発 疹 症	M C L S (川 崎 病)	マ イ コ プ ラ ズ マ 肺 炎
～5ヶ月	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
～11ヶ月	0	0	0	15	0	1	0	3	0	11	0	0	0	0	0
1歳	10	1	0	24	0	15	1	2	0	19	1	0	0	0	0
2歳	0	0	0	7	1	2	0	0	0	17	2	0	0	0	0
3歳	0	0	1	6	1	2	0	0	0	7	1	0	0	0	1
4歳	0	0	4	6	1	2	1	0	0	6	2	0	1	0	2
5歳	0	0	5	6	1	1	0	0	0	1	4	0	0	0	1
6歳	0	0	1	6	0	1	0	0	0	5	4	0	0	0	2
7歳	0	0	2	9	0	1	0	0	0	0	8	0	0	0	4
8歳	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
9歳	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
10～14歳	0	0	0	7	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1
10～12歳												0			
13～14歳												0			
15～19歳	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳以上	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
合計	11	1	14	98	4	25	2	6	0	67	31	0	1	0	12

第34週年齢別発生状況表